資料６－１

アドベンチャートラベルに対応した「新しいガイド制度のあり方」中間取りまとめ（案）

ＡＴに対応した新しいガイド制度のあり方検討の趣旨・経過

新しいガイド制度検討の趣旨

- アドベンチャートラベル・ワールドサミット（ATWS）2021開催に向け、コース造成やガイド育成等を推進
- AT対応のガイド基準である、アドベンチャートラベル・ガイドスタンダード（ATGS）に準拠したガイド育成の必要性を認識
- ATWS2021開催により、ATの推進には適切な資格、技術を有し、かつ十分に訓練を受けた、質の高いガイドが必要と把握

幅広くかつ質の高いスキルを認定する「新たなガイド制度の導入」が必要

経過

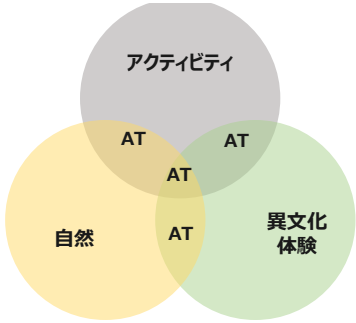
2021年7月	第１回北海道観光審議会に諮問、第１回北海道観光審議会AT部会
8月	第２回北海道観光審議会AT部会
9月	ATWS2021バーチャル開催
11月	第３回北海道観光審議会AT部会
2022年1月	第４回北海道観光審議会AT部会

1 アドベンチャートラベル（ＡＴ）とは

【定義】

- アクティビティ、自然、異文化体験の３要素のうち、２つ以上を含む旅行形態

ATの概念図



ATTAとは

(Adventure Travel Trade Association)

世界最大のアドベンチャーツーリズム団体（本部･米国）。メディア、政府観光局、観光協会、ＤＭＯ、ツアーオペレーター、アウトドアメーカーなどで構成され、約100ヵ国、1,300会員を擁する。

ATWS過去の開催実績

2016	アンカレッジ（米）
2017	サルタ（アルゼンチン）
2018	トスカーナ（伊）
2019	ヨーテボリ（スウェーデン）
2020	アデレード（豪）※中止
2021	**北海道**

【AT市場の状況】

- 市場規模：約70兆円超（ATTAによる）
- 欧米豪の富裕層を中心に年々拡大
- AT旅行者の観光消費額は、通常旅行者の約２倍

2 アドベンチャートラベル･ワールドサミット（ATWS）とは

- ATの国際的な団体**ATTAが主催**する世界最大のATイベント
- 過去の大会では、世界中から約800名が参加

アドベンチャートラベル・ワールドサミット・バーチャル北海道／日本

(1) 日　程　令和3年(2021年)9月20日(月)～24日(金)

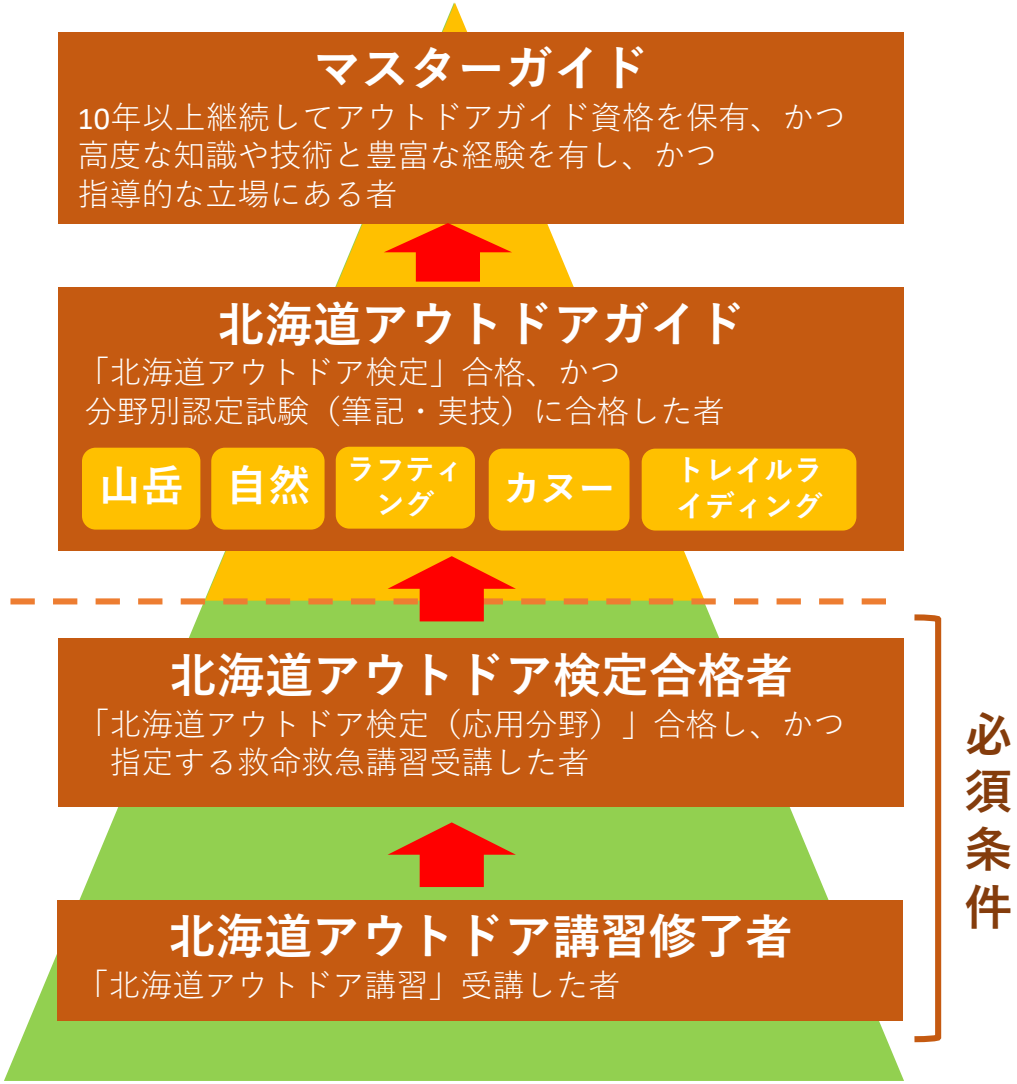
(2) 開催プログラム

- ○ プレナリー(全体会合)
- ○ 基調講演
- ○ 分科会(ｺﾝｶﾚﾝﾄ)、ﾗｳﾝﾄﾞﾃｰﾌﾞﾙ(一般参加型)
  (ともにATTAがテーマ設定)
- ○ バーチャルジャパンアドベンチャー
  (道内外のPSA21本、札幌・釧路市をPRする動画配信)
- ○ マーケットプレイス(商談会)
- ○ メディアコネクト(海外メディアと参加者の懇談会)
- ○ 北海道アドベンチャー
  (北海道に限定したコンテンツの常時配信)

※下線は北海道が主体的に関与有

現行の北海道アウトドア資格制度について

- **北海道アウトドア活動振興条例に基づき、平成14年から北海道が運営**
- **「北海道アウトドア講習」、「北海道アウトドア検定」、「北海道アウトドアガイド」、「北海道マスターガイド」　の４つで構成**



R3.3.31現在

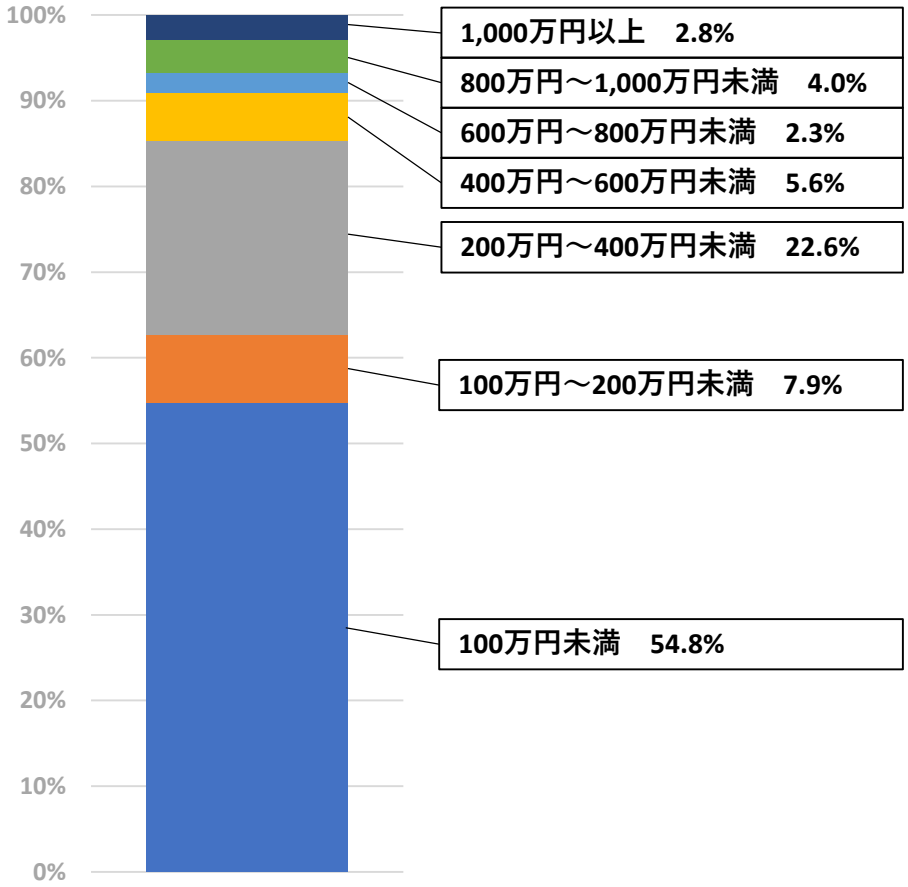
分野	ガイド数	うちマスターガイド
山岳	173	3
自然	172	20
カヌー	92	5
ラフティング	35	3
トレイル ライディング	28	2
計（延べ）	500	33

アウトドアガイドの実態調査・ヒアリング等の内容について

ガイド実態調査

・対　象　北海道アウトドアガイド資格保有者351名に対してアンケート調査を実施
・期　間　R3.10～12
・回答数　177（回答率 50.4％）

ガイド業の収入実績（2019）



ヒアリング等

・対　象　北海道アウトドアガイド資格保有者等179名
・期　間　R3.10～12

＜主な意見＞

アウトドア事業全体

・人材の確保が困難
・客単価を上げること、ガイド自身が自らの価値を高めることが必要
・より深く地域に根ざし、ターゲットを絞る常連客などの上質の顧客はお金を惜しまず支払う

ＡＴ対応・振興

・簡単なアクティビティであれば片言の英語力で対応できるが、ATガイドは地域の環境やストーリーを語れる英語力が望ましい
・ベテランガイドのガイディングを参考にしたい。特にATのスルーガイド研修には興味がある
・日本人ではなく、外国人のガイドから学びたい
・ガイドや関係者に世界基準のATを感じられる機会の提供（体験会や海外視察等）を希望

北海道アウトドア資格について

・資格を保持していることで旅行会社との契約が円滑に進む
・自分の技術を示す唯一の公的な資格である
・顧客への認知度向上など、資格自体の価値を高めて欲しい

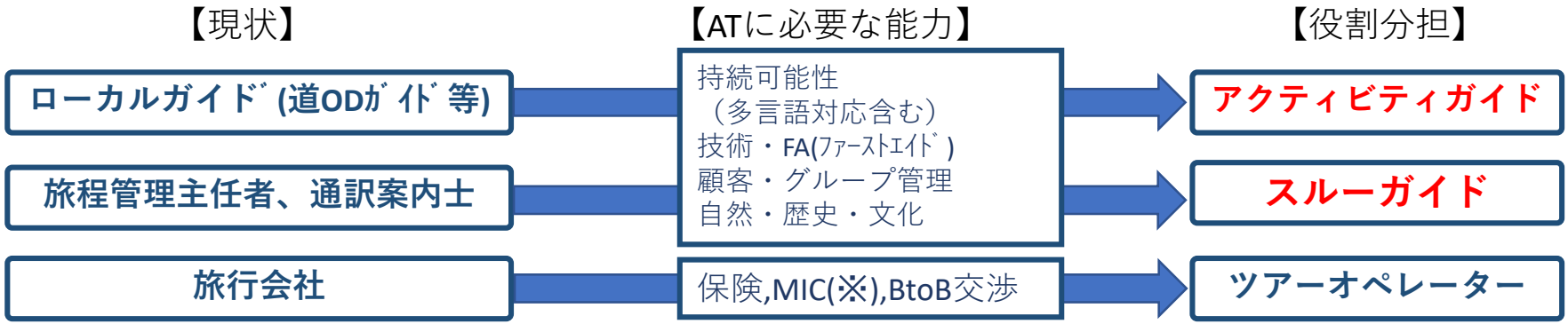
ＡＴＷＳ２０２３に向けて（ガイドに係る役割分担）

ATWS2021で得られた成果

○　十分な訓練及び公的資格等を保有しているガイド等が必要
→　海外の旅行会社が求める能力や資格を認定する制度が必要（ATWS2023までに試行を開始）

各AT関係主体の現状とATガイドのイメージ

○AT関連の主体を機能別に3種類に分類
「アクティビティガイド」、「スルーガイド」及び「ツアーオペレーター」
○ATに求められる能力・認定制度
【ATに必要な能力】を有するガイドを**「アクティビティガイド」、「スルーガイド」として認定することを検討**



(※)MIC（Minimum Information for Customers）
旅行に関して、顧客に提供する最低限の情報

アドベンチャートラベル市場
欧米豪を中心に70兆円を超える市場規模

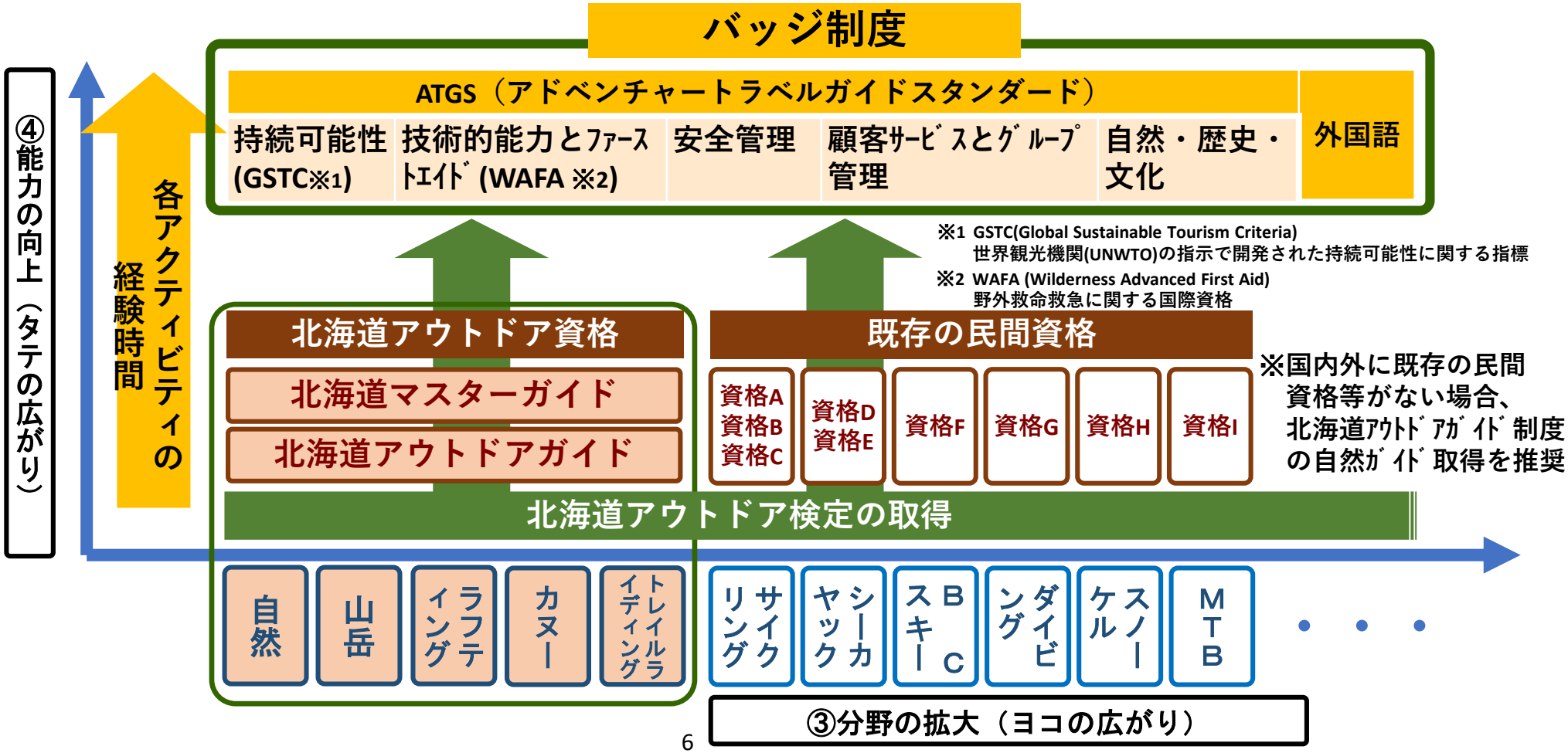
→ 質の高いガイドの育成
→ 道独自の認証制度の確立
→ 積極的なBtoBプロモーション

→ 道内AT市場の拡　大

→ 稼げるガイド

ATに対応した新たなガイド制度（アクティビティガイド）

① 目　　標	“国際資格”を実装した“ローカルガイド”（ATツアーへの対応）
② 方　　向	道アウトドアガイド資格制度を土台に、バッジを付与する制度を付加
③ 分野の拡大	北海道アウトドアガイド制度の５分野の枠組みは維持し、 他分野は同制度の検定取得＋既存民間資格と連携
④ 能力の向上	経験時間の基準を設定し、ATGS対応の国際資格取得や研修の受講等を認定 フィールドでの実査（現場で使える技術等を保証）を検討



今後の検討課題及びスケジュールについて

今後の検討課題

○　次の論点については、引き続き検討を行い、令和４年度上期中を目処としてまとめる予定

アクティビティガイド	顧客ニーズに対応した 分野の拡大 （ヨコの広がり）	・　連携可能な民間資格の調査・協議 ・　連携する分野（海外資格を含む）の「目利き」 ～　誰が、どのタイミングでどのように実施するか
	品質保証と能力の向上 （タテの広がり）	・　ATGSの各基準を充足する方法を検討 ・　アクティビティごとの客観的基準（経験時間）の設定 ・　国際資格の実装に向けた基準・手法 ・　実査の基準・手法 ～　誰が、どのように判断するか ～　口コミ等の評価や降格制度の付与の要否 ～　ヨコの広がりの実査について
スルーガイド		・　AT対応に必要な能力の審査基準及び手法
その他		・　海外や顧客から見た「分かりやすさ」の確保 ・　資格の運営団体及び運営の方法

スケジュール（想定）

時期	審議会における審議等
令和４年２月15日	北海道観光審議会（あり方中間取りまとめ報告）
令和４年３～４月頃 ５～６月頃 ７～８月頃	第５回　AT部会　（検討課題の審議等） 第６回　〃　（あり方素案の審議等） 第７回　〃　（あり方答申案の審議等）
令和４年度上期中　（目処）	北海道観光審議会（あり方答申）